

鹿児島県
2020/5/29

社会福祉施設で 新型コロナウイルス感染症 にどのように備えるか

鹿児島大学病院 感染制御部

川村 英樹

新興・再興感染症

- 新たに出現した、あるいは既に存在していたが急速に頻度が増加、あるいは地域的に拡大した感染症
- 発生要因
 - 生態系の変化（開発・地球温暖化）
 - 人間の行動様式（人口増加・人の行動・性行動）
 - 技術と産業の進歩（食品供給のグローバル化）
 - 病原体の適応
 - 公衆衛生対応の破綻
 - **国際的移動と貿易**

日本感染症学会 感染症専門医テキスト解説編 第2版

2

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

- 伝播リスク・感染経路は未確定
- 確立した治療薬・ワクチンがない



3

今求められること

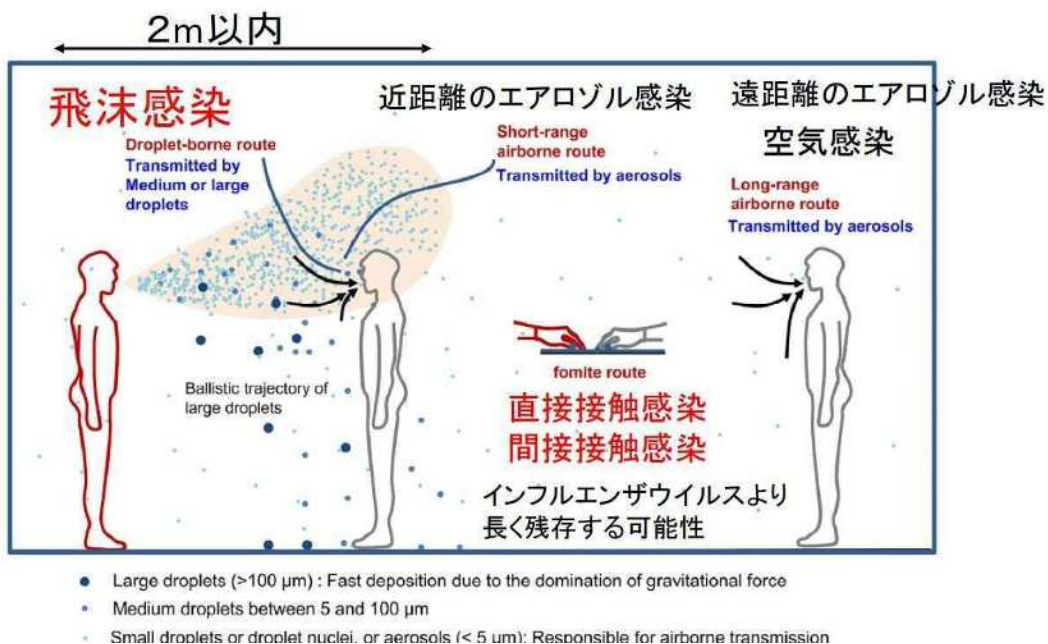
「疫学情報から適切に」
: 正しく怖がるためのリスクコミュニケーション

「適格に状況を把握し」
「組織間の信頼関係のもとに」
「感染拡大・重症化防止のため、共通の方向性で」

4

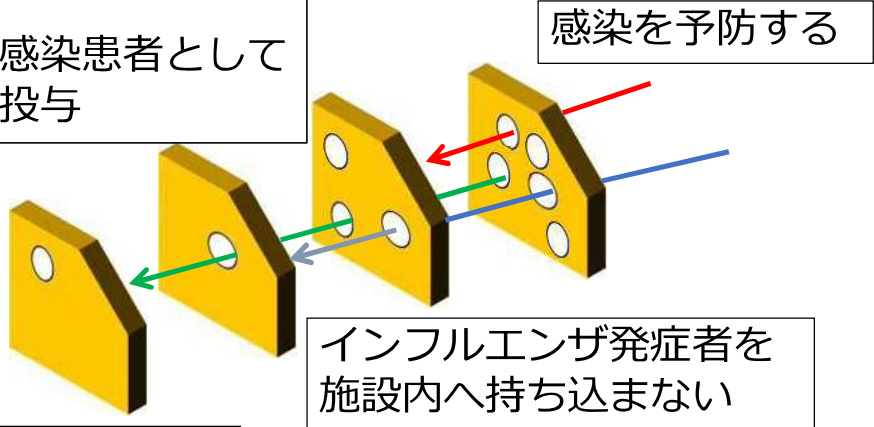
新型コロナウイルスの感染経路

- 感染経路は飛沫・接触感染である
- エアロゾル感染：微小な空気中で浮遊できる粒子による感染



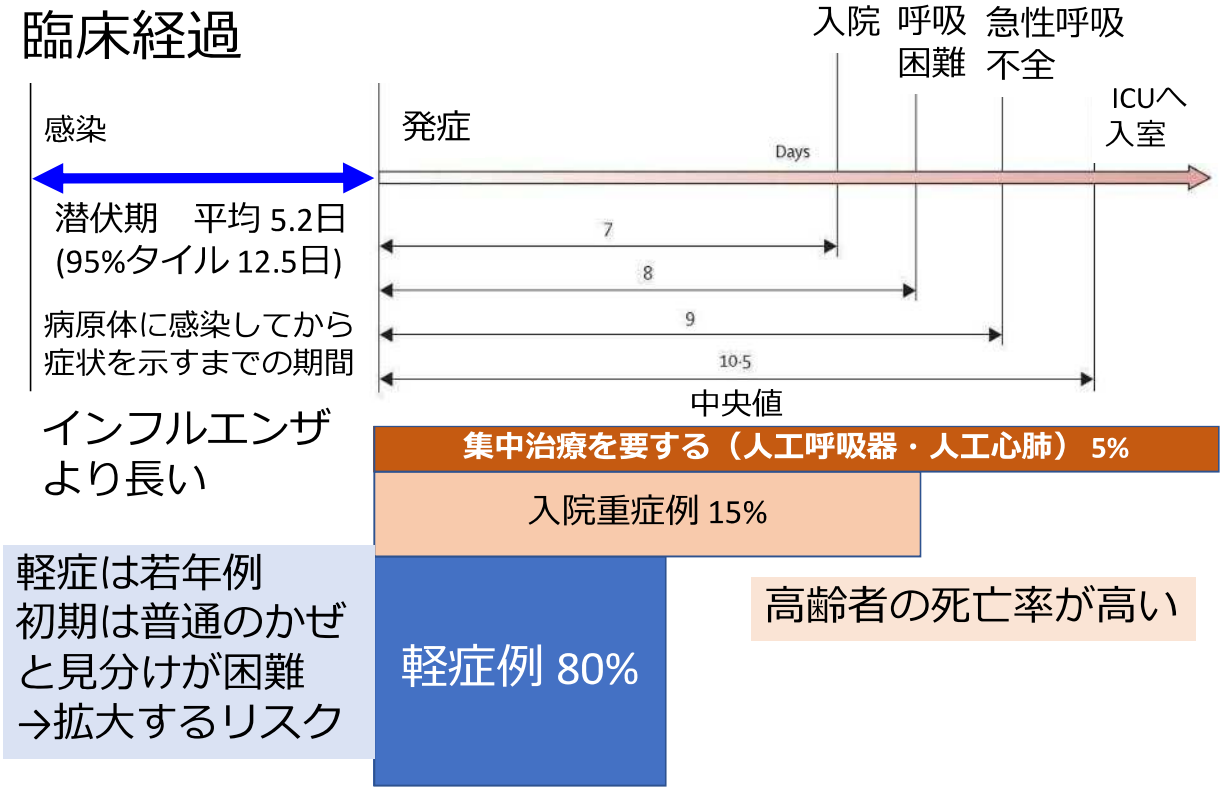
インフルエンザの対策

- 感染を拡大させない
- 発症を疑った場合は迅速に隔離し、飛沫（接触）予防策を実施
 - 接触者も準感染患者として隔離・予防投与



アウトブレイクを収束させる
→ 保健所へ連絡

中国からの報告を基にした臨床経過

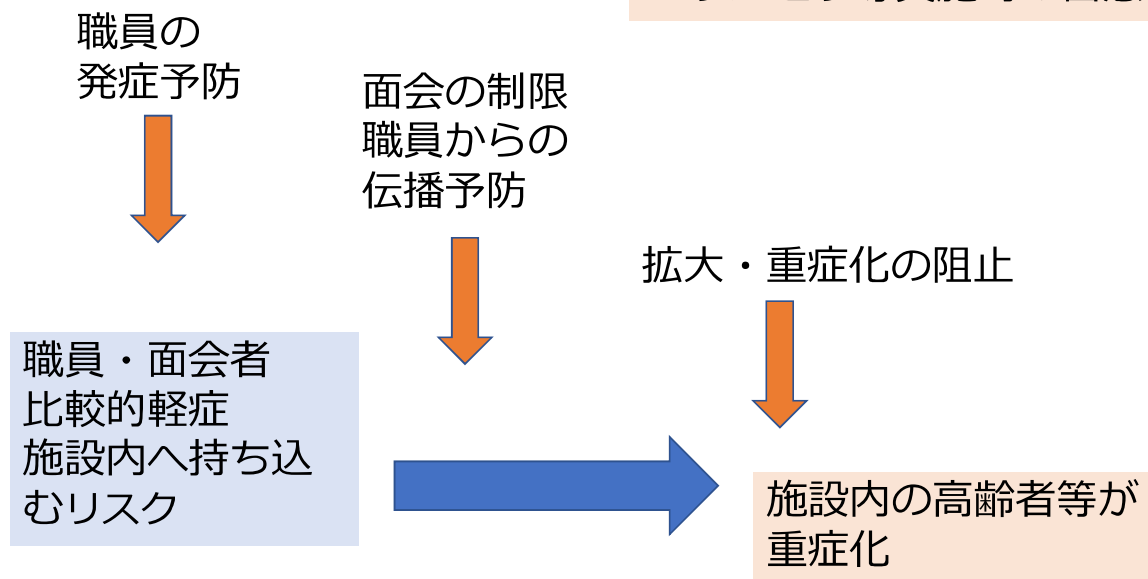


軽症は若年例
初期は普通のかぜと見分けが困難
→ 拡大するリスク

CCDC Weekly / Vol. 2 / No. 8 2020, Li Q et al. N Engl J Med 2020 Jan 29 Huang C, et al. Lancet.

施設での対策の基本

- 感染症対策の再徹底
- 面会・施設への立ち入り
- リハビリ等実施時の留意



4月7日厚生労働省事務連絡
社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について（その2）

「感染予防の基本：自分が感染しない、人にうつさないための対策」

- 手指衛生の励行
- 個人防護具

個人防護具の汚染

- ICUでは靴底50%, 手袋25%, 袖口16.7%が汚染

- SARS-CoV-2は空気中および物体表面に広く分布し、密接な接触者に高い感染リスクがある

Emerg Infect Dis. 2020

手指衛生が必要な5つのタイミング 「医療における手指衛生に関するWHOガイドライン2009」



<http://med.saraya.com/who/fivemoments.html>

入退室時の手指衛生遵守は鹿児島大学病院のルール

医療スタッフマニュアル第8版(P58)

「感染予防の基本：自分が感染しない、人にうつさないための対策」

- 手指衛生の励行
- 個人防護具
 - ✓糞便など体液・汚物処理をする際には、マスクのほか眼鏡、ゴーグル、フェイスシールド付マスク、手袋、エプロンを着用
 - ✓手袋やエプロンなどの個人防護具は入居者ごとに交換
 - ✓マスクが入手可能であれば、職員の常時マスク着用を検討

日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 第1版（2020年4月3日）

N95マスクとサージカルマスク

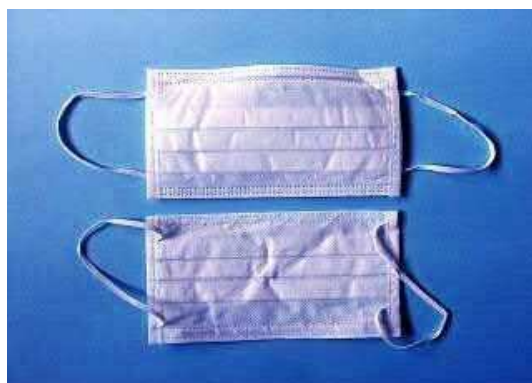
N95マスク



空気感染予防

- 微生物を含む外気から、マスクを装着するヒトを守る。
- 外から内への経路を防ぐ

サージカルマスク



飛沫感染予防

- マスクを装着したヒトから排出される粒子が大気中に拡がるのを防ぐ。
- 飛沫が口腔に入るのを防ぐ

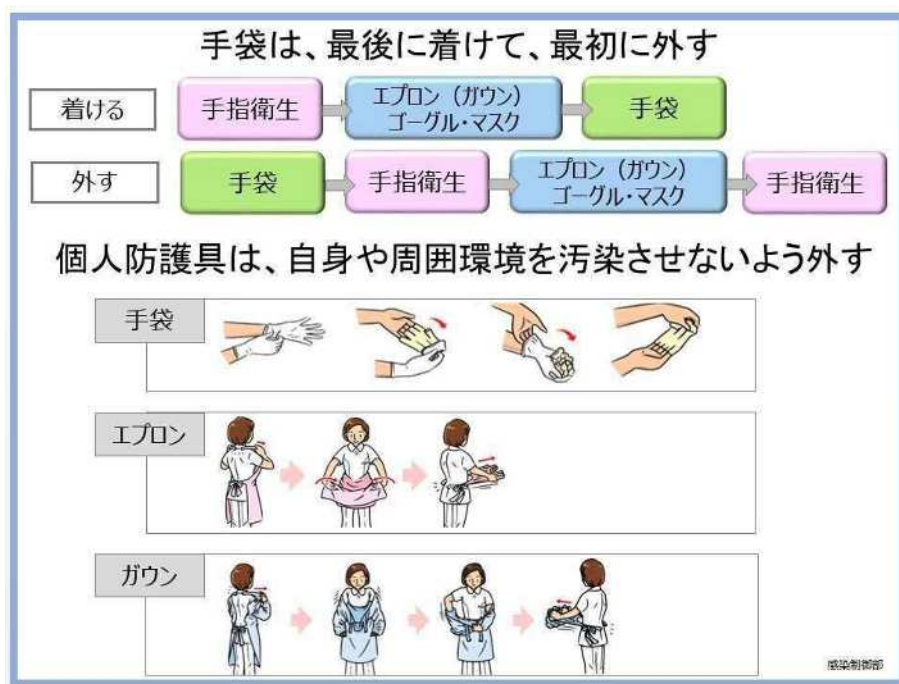


表3 感染防護具や消毒薬が入手できないとき

サージカルマスク	布やガーゼによるマスクで代用する。鼻までが覆えるように工夫すること。ただし、防御機能は低下しているため、できるだけサージカルマスクを入手する。
手袋	素手であっても、ケア直後に丁寧に石鹸を用いて手洗いをする事で感染は防御できる。
使い捨てエプロン	ゴミ袋の底に1カ所と側面の2カ所に穴を開けて、レインコートのように被ることで代用できる。
アイゴーグル	透明なアクリル板を適切なサイズに切って眼鏡に張り付けることで防御できる。
手指消毒用エタノール	丁寧に石鹸を用いて手洗いをする事で感染は防御できる。
環境消毒用エタノール	台所用合成洗剤を200倍に薄めた液体（水1Lに洗剤5mLを加える）でウイルスを不活化できる。刺激があるため手指衛生には不適だが、環境清掃に使用できる。この他、界面活性剤成分を含有する市販製品の多くも使用できる。

高齢者施設における新型コロナウイルス感染症への対策
沖縄県立中部病院感染症内科

「施設内に持ち込まないための工夫と対策」

- 面会や施設内外のプログラムの制限や休止
- ✓不要不急の面会は中止し、やむを得ず面会される場合にはマスク着用をお願いする
- ✓施設内での密集するようなイベントや、外出するようなレクリエーション、延期可能な定期検診などは控える
- ✓地域の流行状況を十分に考慮し、高齢者は不活発化にともなうフレイルにも注意する必要があることから、換気や入居者同士の距離（1-2m以上離れる）に留意してプログラムを組むことは可能
- ✓屋外への散歩などは差し支えない

日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 第1版（2020年4月3日）

面会者の症状確認と制限

地域での発生を認めていない状況

地域で感染者の報告はあるものの、いずれも渡航歴や接触歴のある患者であって、流行状況は限定的であると考えられる状況。

- すべての面会を中止する必要はありません。
- ただし、訪問時に玄関先で手指衛生を行っていただき検温と症状確認をします。軽微であっても発熱や咳などの症状があれば面会をお断りします。また、なるべく個室での面会として、他の入所者と接することがないようにお願いします。
- 納入業者については、できるだけ物品の搬入を玄関先で行います。どうしても立ち入る必要があるときは、玄関先でアルコールによる手指衛生を行ったうえで、トイレも含め共用の場所には立ち入らないように求めます。

地域で発生しており、患者への入院勧告が行われている状況

渡航歴や接触歴のない患者の報告が増加しており、地域での流行が始まっていると考えられる状況。

- 原則として施設内での面会をすべて中止とします。
- 入所者の外出については、屋外の散歩程度であれば制限する必要はありません。
ただし、外出先で人の集まる場所に立ち入らず、公共の物に触らないなど注意してください。
また、家族など親しい人と屋外で面会することも構いませんが、面会者に発熱や咳嗽などの症状がないことを確認したうえで互いにマスクを着用するようにします。いずれの場合にも、施設に戻ったときの手指衛生を心がけるようにしてください

高齢者施設における新型コロナウイルス感染症への対策
沖縄県立中部病院感染症内科

- これまでも長期の面会中止が行われ、入居者の方々へのストレスケアの必要性も高い
- 利用者の方とそのご家族等との間で、ご家庭にしながらオンライン面会（テレビ電話システムや Web アプリのビデオ通話機能 等のインターネットを利用する面会）を行っていただくことが望ましいとされる

5月15日厚生労働省事務連絡
高齢者施設等におけるオンラインでの面会の実施について

・職員の健康管理

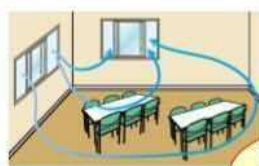
- ✓職員の発熱や感冒様症状などの体調不良者を把握ま当面は海外渡航を控えること、これまで集団感染が確認された場に共通する3つの条件)に重なるような場所やイベントには行かない
- ✓体調不良時には休む必要があることを、施設全体での共通認識として理解しておくことが必要



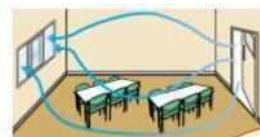
日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 第1版 (2020年4月3日)

「拡げないための工夫と対策」

- ・入所者・デイケアの健康管理
- ・換気
- ✓施設敷設の空調による換気+開窓
- ✓定期的 (例えば日中は1時間に1回程度、1回10分程度) に2方向以上で
- ✓発熱や検査中の入所者がいる場合は、個室に入室し、換気 (施設内のオープンエリアに流れない工夫が必要) をよりこまめに



空気が停滞しないように工夫しましょう

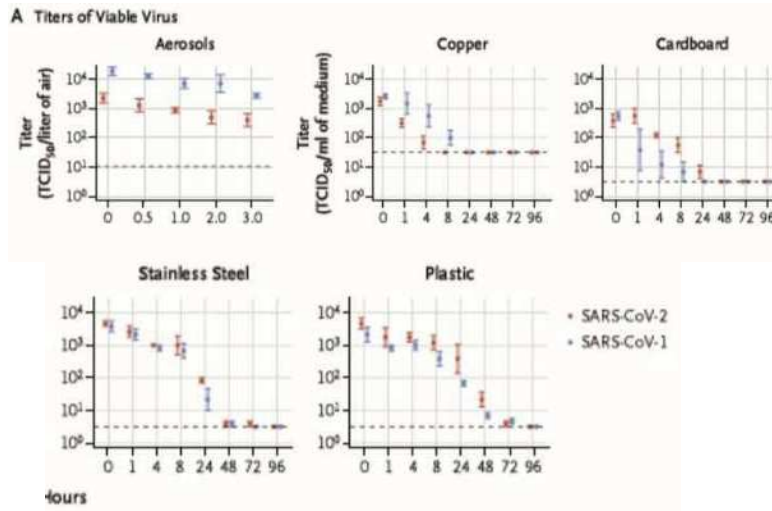


2方向開窓することで空気の停滞が少なくなります

日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 第1版 (2020年4月3日)

- 環境・器材消毒

✓SARS-CoV-2は環境中に長く(24-48時間)残存する



✓タブレット端末が感染拡大につながった可能性がある事例もあり、電子カルテ用パソコンタブレット端末は定期的に清拭消毒する。

N Engl J med 382;16 nejm.org April 16, 2020

- 環境・器材消毒

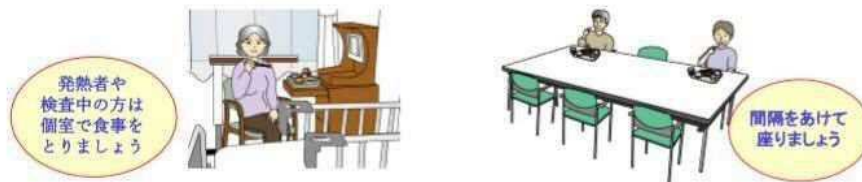
✓アルコールもしくは次亜塩素酸ナトリウムでよく触れる場所を消毒することは有効

✓トイレなどの環境や陰部洗浄ボトルなどの器具は入所者ごとに交換、次亜塩素酸ナトリウムで消毒



- 配膳と給食、リネン管理

- ✓発熱者や検査中の方は個室でとるようにしてください。食堂でとる際には、換気に留意して間隔を空けるなどを
- ✓食器やリネン類は通常の80°C、10分間の熱水消毒で十分。ハンカチやタオル類の共有は避けて



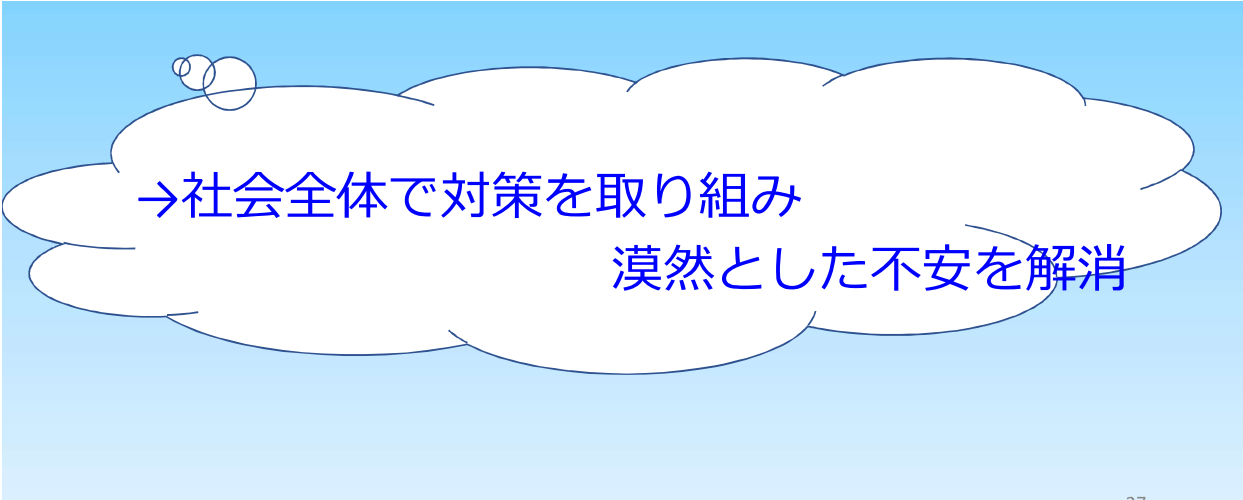
日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 第1版 (2020年4月3日)

- 入所者および職員の検査と地域連携

- ✓COVID-19疑いの場合はPCR検査
 - ◆潜伏期も含め 偽陰性がみられる
 - ◆高齢者では尿路感染症や誤嚥性肺炎、胆石胆嚢炎など様々な感染症も多くみられる。
- ✓地域における発生状況や、職員や入所者に原因不明の発熱や呼吸器症状が増加しているなどの徴候があれば、保健所や地域医療機関とも連携して対応を

日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 第1版 (2020年4月3日)

- 医療機関・高齢者施設・市中をふくめた標準予防策・咳エチケットの徹底による予防
- アウトブレイクの探知、拡大の防止
- 検査体制・診療体制の整備や機能維持



→社会全体で対策を取り組み
漠然とした不安を解消

27